

<ちょこっとコラム④⑥>

(教会歴 その⑫)

「降臨節前主日」 *Last Sunday before Advent / Stir-up Sunday*

聖霊降臨後最終主日である今日は、降臨節前主日と呼ばれ、教会の暦の上では一年の最後の日曜日となります。来主日、12月1日の降臨節第一主日から新年が始まり、聖餐式聖書日課はA年が読まれるようになります。カトリック教会は、今日の主日を「王であるキリストの祭日」と呼び、世の終わりに再び来られるイエスが人々を世の支配から解放する王であることを覚え、たたえます。

イギリスでは、伝統的にこの日にクリスマス・プディングと呼ばれる洋酒の入ったフルーツケーキを作り、クリスマスの日まで熟成させます。

